昭和48年11月5日
広報あじず　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 1番・〒754―12
印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

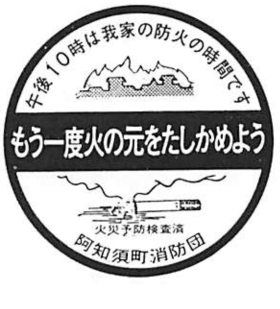
No.264

町の住民登録人口
（48年10月31日現在）前月比
世帯　2,058世帯　＋7
人口　8.156人　＋2
（男3.841人　女4.315人）
（国勢調査昭和45年10月1日）
世帯　2.008世帯
人口　8.035人
男3.730人　女4.305人

26日から火災予防運動

隣りにも声かけ合って

暖房器具の扱いに注意を


午後10時は我家の防火の時間です
もう一度火の元をたしかめよう
火災予防検査済
阿知須町消防団

秋の火災予防運動が十一月二十六日から十二月二日まで展開されます。これから暖房器具を使う家庭がふえ、火災の起るおそれが多くなります。火災はたくさんのものを灰にしてとりかえしのつかないものにします。火の元にはくれぐれも注意しましょう。ことしの防火標語は『隣りにも声かけあってよい防火』です。

初日は八幡宮で防ぎょ訓練

防火運動に当り町消防団は初日の十一月二十六日早朝、防ぎょ演習をするのをはじめ、二十九日には大衆の出入りする建物や老人家庭の立入検査をし、危険な個所はないか、防火施設はよいかなど調べます。

防火演習は北方八幡宮付近から出火、神社へ類焼しそうだとの想定で行われます。

このため、二十六日朝六時ごろ火災用のサイレンが鳴ります。火事と間違えられませんようにあらかじめお知らせします。

また、この運動に合わせて、各家庭の防火予防検査をし、検査の終った家にはワッペン＝カット参照＝を貼ることにしています。

ことしは十回出動

本町の火災状況をみますと幸い近年、建物の類焼はなく、ボヤか一戸だけの火災で終っています。町交通防災対策室の調べによると消防車が放水した火災は

四十六年　一件
四十七年　二件
四十八年　一〇件

となっています。

四十六年は黒谷の山火事、四十七年はゴルフ場ハウス、河内の山火事。ことしは十月末で十件と大幅にふえていますが、家が三件で他は草焼きによるもの三件、源河や河内地区の山陽本線の線路沿いの草が燃えたのが四件となっています。特にことしは異常乾燥が続いたため、小さな火の粉から草が燃え出したというのが非常に目につきます。

早い出動を誇る
本町の消防団

ところで町内には現在、防火用水槽が二十七、簡易水道の消火栓が五十七個あります。消防機庫は三カ所です。

つまり、阿知須浦地区の第一分団が役場。井関地区の第二分団が農協野口支所付近。岩倉・旦地区の第三分団が農協岩倉倉庫の東側にあります。このうち第三分団機庫は国道バイパス工事のため、岩倉バス停そばから移転し、現在最終工事の段階です。建物の面積が七十七平方メートル。工費二百九十万円です。

ポンプ類をみると、町の消防車が四台、小型ポンプ積載車一台、持ち運びのできるポンプが三台です。このほかに若山産業に消防車が一台おり、これは工場内の火災に備えています。

本町の消防団は非常勤ですが、出動の早さは県下の他町村の範となるほどのスピードを誇っています。特に一分団の場合、火災出動のサイレンが鳴り終るか終らないうちに消防車が走り出すといった具合です。

団員は一分団三十二人、二分団十八人、三分団も十八人で、合計六十八人。団長―副団長―分団長―副分団長―部長―団員というような組織になっています。

しかし、こうしてすぐれた組織をもっていても、火事を起さないのが火災防止の第一歩だといえましょう。

土地の譲渡は届出を

公共事業予定区域は三百平方メートル以上

来月から　公有地拡大法で義務づけ

「公有地拡大の推進に関する法律」が十二月一日から適用されます。これによって阿知須町内の場合面積が五千平方メートル（約五反）以上②市街化区域内では二千平方メートル（約二反）以上③公共事業の予定区域内で三百平方メートル以上（約九十一坪）の土地をそれぞれ売却しようとするときは県知事に届出なければならなくなりました。

また、こうした土地を県や町など公共団体に買いとってほしいと思うときは役場を通じて県知事に申出ることができます。

これらの手続きは法で定められた様式に従って行うことになっており、もし、届出なかったり、うその届けをした場合は十万円以下の過料に処せられることになります。

くわしいことは今月二十日発行のお知らせ版で紹介します。

議会だより

町教育委員に
中尾正一氏を再選

第三回臨時町議会は十月八日開かれ、補正予算、教育委員の選任など可決しました。

一般会計予算は七千一百三十一万円を追加、歳出歳入とも五億六千四百三十九万一千円となりました。歳出の中には阿知須小学校の開校百周年記念事業の費用、その他が含まれています。

また、任期満了に伴う町教育委員の選出については、中尾正一氏（七七）―浜表・農業―が再選されました。

教育委員は五人ですが、毎年誰かが満了するように任期がずらしてあります。

テレビ、ほら、映るよ

県下一をほこる放送施設　阿小校

スタジオからテレビ放送（上）

調整もぼくらの手で（下）

映った、映った！…阿知須小学校のテレビ放送をみた子どもたちは大よろこび、先生たちも視聴覚教育に成果が期待できると大張切りです。

これは、同校開校百周年記念事業委員会（西中豊委員長）が記念事業として立案、町内外の同窓生や関係者らからの寄付をもとにしてつくったものです。

放送室は本館の一部を改造してスタジオと調整室を設け、この間を二重の透明ガラスで遮断、放送局のようにできています。

スタジオには二台のテレビ・カメラ（白黒）があり、ここで映像して各教室のテレビ受像機に画像を送るようになっています。

さらにビディオ再生装置もありハンド・カメラも備えているので屋外で移動撮影したものを再生することもできます。

こうした施設は県下でも最新式で、しかも、いちばん充実したものだといわれています。工費は約七百万円。

なお、記念事業として他に記念史誌の発行、石碑建立、吹奏楽器の購入などがあります。

十二日に記念式

阿知須小学校百周年記念式は十一月十二日です。

また、これに合わせて十二、十三の両日、同校で華道、盆栽、教育、児童展など催されます。さらに両日、児童や母親の合唱民謡、舞踊、謡、詩吟などアトラクションが予定されています。

67歳～69歳にも
老齢年金を支給

該当者は今月中に申出を

拠出制老齢年金（六十五歳以上）も老齢福祉年金（七十歳以上）も受けられない年齢にある老人に対して、国は来年一月から月四千円の老齢特別給付金を支給することになりました。

該当するのは六十七歳から六十九歳までの年齢にある人で、国民年金の拠出制度（保険料を納めること）ができた当時（昭和三十六年四月一日）五十五歳を越えていたため年金制度に加入できず、七十歳近くになった現在、いずれの年金も恩恵に浴さない人があるわけです。

こうした人たちを救おうというのがこの特別給付です。

該当者は来年一月に届出ていただくことになっていますが、この年齢にある人はあらかじめ十一月中に国保年金係へお申出ねがいます。高額所得者や公的年金の受給者は受給できないのであらかじめご相談ください。

お知らせ

登記に関する相談もどうぞ
十四日の無料相談

町社会福祉協議会では、二カ月に一度の〝心配ごと無料相談〟と〝交通事故相談〟を十一月十四日午前十時から午後二時まで、町役場で開きます。

特に今回は、生活、家事、人権、児童、職業の相談の他に、山口県司法書士会から司法書士が出席して登記に関する心配ごとについても相談に応じます。ご利用ください。

11月の行事予定

12日	インフルエンザ予防接種1回目の料金100円、保護家庭は無料（後1時半～2時半・岩倉保育園・一般）なお2回目は20日同会場で
13日	育児相談（後1時）
14日	心配ごと登記・交通・事故相談（前10～後2時）幼稚園・保育園児交通指導
15日	生ポリオワクチン投与（後1時半～2時半） 炭そ病予防接種
16日	青年文化教室（後7半）
18日	第1回町内オープンバレーボール大会（前9時・阿中）
19日	豚コレラの予防接種
21～22日	第2次一般レントゲン検診
22日	幼児学級（後1時半）

〔時間の入った催しは役場〕
※妊婦学級毎週金曜（但し23日は祭日のため22日午前10時から正午まで町役場で）

水洗便所は自家用
井戸水のご使用を

近年、本町でも浄化槽を用いる水洗式便所が普及しつつありますが、本町の水道は井戸水を汲みあげて各家庭に配る仕組みになっていますので、断水や水不足の場合使用できないことも予想されます。したがって、水洗式便所にされる場合、あるいは現在、利用されている家庭では自家用井戸水を使用されるようお願いします。

町内オープン男女バレーボール大会

町体育協会は、第一回町内オープン九人制・男女バレーボール大会を、次のとおり開きます。

日　時―十一月十八日午前九時
会　場―阿中バレーコート
資　格―町内在住者か在勤者で高校生以上
編　成―団体、町内会、クラブ、職域、学校同窓者など自由
参加料―無料
申込み―十日までにチーム名、責任者を町教育委員会（電話一〇五、有線二一五二）へ。電話でもよろしい。

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

◇香典返し▽二万円＝伊藤稔さん（南祝）は父豊蔵さんの▽金一封＝工藤利子さん（西条）は夫勉治さんの▽三万円＝深野国祐さん（小西）は長男俊幸さんの▽一万円＝中川渉さん（縄南）は姉蒔子さんの香典返しとして寄付▽二千円＝村重万喜男さん（北祝）は消防団の退職金を。▽四千二百七十一円＝アジス一〇一は軽音楽祭で募金したお金を。

〔町へ〕

▽村田勝之進さん（春日井市不二ガ丘三丁目一〇五番地の五）は七百円。上田マサさん（広島市牛田早稲田一丁目一の一二八RC六の一〇一）は三百円を広報紙郵送料として。

野犬を薬殺
十三日から二十日まで

町では、十一月十三日から二十日まで、町内全域で野犬の薬殺を行ないます。

この期間中は、各所に毒餌を置きますのでさわらないようにしてください。毒餌の付近には赤旗をたてておきますので、犬を散歩させられる方はご注意ねがいます。

夕方は四時半まで
役場の執務時間

役場の閉庁時刻は例年どおり十一月一日から平常に戻し午後四時半にさせていただきました。

したがって、来年三月末までは午前八時半から午後四時半までが執務時間となります。ご了承ください。

無料でレントゲン検診
受診もれの人を対象

町では、十一月二十一・二十二の二日間、町内十七カ所で第二次一般レントゲン検診（結核健康診断）を無料で行います。

今回は九月の検診を受けられなかった方が対象です。

結核健康診断は、原則として全国民が年一回は受けるよう義務づけられています。したがって、事業所等で受診される方以外は必ず受診していただくことになります。

日程は次のとおりです。

11月21日（水）

		時分
源河	観光ホテル	9・10
引野	藤田幹雄	9・40
向井関	村田巧	10・10
野口	野口支所	10・50
赤迫	飯田宏史	11・30
浜表	浜表公会堂	13・10
河内	北方八幡宮	13・50
円松	山王神社	14・30
旦北	山野新一	15・10

11月22日（木）

岩倉	中央公会堂	9・20
砂三	砂郷公民館	10・00
中村	利重仏具店	10・40
築地	漁業協組	11・20
小南	小古郷会館	13・10
北祝	臼井新作	13・50
浜	クーポン店会	14・30
飛石	町役場	15・10

（とじておくと便利です）

録音盤

老人大学の社会見学

山田亮一（小南）

〈町の老人大学の山口市探訪に夫婦で参加した最高齢者。その感想をたずねてみると〉

○—わたしゃ八十五歳であります。ばあサアは八十四です。夫婦になって六十五年になります。山口行きの話があったときばあサアが「行くかノ、どうするかノ」ていうから「おお行くぜ」というて一生懸命になって行きました。申込んだものが二百二十五人おったていうことです。バス四台で行きました。

○—車にゃ酔うことはありません。若いときは帆船に乗って九州や大阪方面、朝鮮にも通いました石炭を積みましてノ。わたしゃ護国神社へ詣りたいから護国神社へはじめに行かしてもらいました。それから、仁保の通信衛星の中継所というところへ行きました。ありゃなんていいますかいノ、おお、そのアンテナ。どえらい大きなもンですノ。建物の中に入って暗いところで写真をみせてもらいましたが、世界中のできごともここを通してテレビで放送できるということでした。ひでえ世の中になったもンですノ。

○—宮野の温泉にも行きましたむかしは、風呂のそばに牛小屋があって、そこのハエが飛んできて肌にとまりよりました。それが、いまは、りっぱな建物に変って、一戸建のような家もいっぱい建っておりますノ。食事のときみんなが歌え歌えいうてすすめてじゃケン前へ出てむかしの歌を歌いました。阿知須の歌ですかノ？むかしにゃあったようじゃが覚えちょりません。

○—年をとっても、いろいろ勉強させてもらいます。おとどしは町長さんから結婚六十年以上ということで賞状をもらいました。国のため、町のため、家庭のために役立ったというてほめてもらいました。国のためちゅうのは大正三年に兵隊に出たからでしょうかいノ。そのときの軍人手帳、こんに持っちょります。わたしの子は十人です。まあ、いろいろお世話になります。

あじす再発見　②

阿知須小学校がこの十二日に開校百周年記念式を行いますので今回は同校の歩みをとりあげてみましょう。（文中敬称略）

わが国に学制が発布されたのは明治五年のこと。阿知須小学校はその翌年四月に東岐波の花園に創設されました。このときは西岐波東岐波、阿知須、井関地区が連合で設けたもので名称も『花園小学校』と呼んでいました。初代校長は中川令辰（縄田区・前町長中川仲之進の父）。山口で私塾を開いたり、毛利藩の藩史編集事業に当ったりした人でした。

しかし、阿知須、井関地区の者にとっては遠いため、二年後に東条、旦、引野、浜表の四カ所に小学校を設けました。このとき東条にできたのが、本当の阿知須校の歩みを続けることになったのです

つまり、それから八年後の明治十六年には鴨生原に新築移転し、二十七年に現在の地、字木船に移して今日に至っています。

現在の田中栄一校長はちょうど二十代目に当ります。

現在の建物で戦前からあるのは講堂だけです。

なお、本町にもう一つある井関小学校は明治二十八年に現在の地に移っています。同校は来年に百周年記念事業を行う予定です。

ちなみに、わが国の義務教育年限の歩みをみると

明治一九年　尋常四年
〃　四〇　〃　六
昭和一六　〃　六・高等二
〃　二二　小学六・中学三

となっています。

（写真は昭和三十年代まであった校門）

開校100周年の阿知須小

たばこは町内で

被害は昨年の倍以上に

松くい虫、伐採すれば補助金

最近、松くい虫にやられて葉があかくなった松の木があちこちでみられます。特に大きな木や、一本だけ離れているようなものがひどく、町では防除対策を強くすすめています。

町産業課でまとめたところでは去年三百立方メートル伐採したがことしは七百五十立方メートルにのぼるだろうとのことです。

木の一立方メートルは胸高の直径が三十センチで高さが三十四メートルの木に相当します。直径二十センチで高さ六メートルなら十本が一立方メートルだといわれます。したがってこれが如何に大きい被害であるかが想像できます。

対策としては、健康な松には薬剤を散布すること。すでに被害にかかった松は切り倒して駆除剤を散布したり、切り落した枝や木の皮を焼き払うのが効果的です。

被害の松に対しては国・県・町から一立方メートル当り三千八百四十円の補助金が出ます。

薬剤、補助金などについては町産業課へご相談ください。

松くい虫の特徴　材線虫というのが害敵です。六月に去年の被害木からカミキリ虫が出てきますがこれに材線虫がついていますカミキリ虫は松の小枝を飛び交い皮をかじります。一方、材線虫は松に侵入し、マツヤニをつくる細胞を犯しながら猛烈な勢で繁殖するのです。そして、木はヤニの分泌が悪くなり、生気がなくなります。そこへカミキリ虫が卵を生みそれが成虫になり、六月にはまた他の木へ移っていくのです。

樹齢五百年で一本九十万円

八幡宮の老松を伐採

北方八幡宮にあった松の古木二本のうち一本が松くい虫にやられこのほど切り倒されました。

この松は社殿の南側にあったもので、大人の胸のあたりの直径が百十七センチ。大人三人が手を伸ばして抱えるぐらい。高さは三十メートルという大きなものでした

最近、葉がとみにあかくなり、ついに切ることになったわけです

これを競売にかけたところ九十万円で買い手がつき、すぐ切り倒しましたが、中は全然いたんでいませんでした。切り口からみて約五百年経っていたそうです。

（写真は松くい虫で倒された八幡宮の老松）

さらに退治を

まだまだ残るキリン草

セイタカアワダチソウ（通称キリン草）の除去をお願いしてきましたが、まだまだ、はびこっているようです。

この草は繁殖がひどいばかりでなく、人によってはこの花粉を吸うとゼンソク症状になるとさえいわれています。しかも、本町でも年々繁殖しているので、いまのうちに刈り取って、今後ふえるのを防ぐことが大切です。

町では、これまで公有地に生えているのは殆んど刈り取りましたが、個人の所有地にはまだかなり茂っているところがあるようですお手数ですが刈り取っていただくようご協力をお願いします。

麦に生産奨励金

六〇キロ二千円余

政府は麦の生産が年々減少傾向にあるため、この振興奨励策として、ことしから五年間、一俵当り約二千円の生産奨励金を交付することになりました。

金額は一俵（六〇キロ）当り二千百二十四円。したがって三等の裸麦の場合、買入れ価格四千四百六十三円と合わせると一俵当り合計六千五百八十七円になります。

町内あれこれ

阿知須局は八万五千枚

お年玉つき年賀はがき

ことしのお年玉付き年賀はがきは十一月五日が発売です。

阿知須郵便局の扱いは約八万五千枚で昨年より約二〇％の増加。

賞品は一等が卓上電算機、二等電子ジャー、三等園芸セット、四等封筒、五等が切手シートとなっています。

なお、阿知須局の話では前回は約七万枚発売で、賀状の配達数は約十万通でした。つまり、一世帯に五十通平均の賀状が配られたことになります。

しめやかに慰霊祭

町営合同納骨塔の慰霊祭は十月二十日、同所に約三百人が参列してしめやかに行われました。

慰霊祭は中尾町長らの弔辞があり、各団体や官公署の代表らが献花、そのあとは奉賛会主催の慰霊祭にうつり、僧侶五人による読経で霊をとむらいました。

阿知須も研究会場

全国中学校技術家庭

全国中学校の技術家庭科研究大会が十六、十七の両日、宇部を中心に開かれますが、阿知須中学校も技術の会場になっており、各地から約百五十人の教育関係者が参集します。

同校では金属の加工を中心とした研究討議が行われます。

剣道の振興めざす

近く「剣友会」を結成

町内の剣道愛好者が集り剣友会を結成する計画がすすんでいます

発起人には戦前、活躍した人たちが加わっていますが、現在、どのくらいの愛好者があるか把握できないため、入会希望者を受付けています。組織、役員などは近く決める予定です。申込先は町教育委員会事務局。

総合優勝は中西

「体育の日」の球技大会

第二十二回町内親ぼく球技・婦人バレーボール大会は、秋晴れに恵まれた十月十日「体育の日」に阿中グランドで開かれました。

この日は約千人が参加、各種目とも熱戦をくりひろげましたが、特に婦人バレーボールは、引野と寺浜の間で優勝争いとなり、最終セットで大激戦の末、引野が2－1で優勝しました。

なお、総合得点争いは、中西が一般バレーとソフトボールの二種目を制覇し、通算二回目の総合優勝をしました。

成績は次のとおり

▽ソフトボール
①中西②砂郷③旦岡、東条
▽一般バレーボール
①中西②旦岡③砂郷、縄田
▽卓球
①旦岡②岩倉③源河、縄田
▽婦人バレーボール
①引野・仙在・向井関②寺浜
③砂郷、飛沖
◇総合
①中西②旦岡③砂郷

近郷卓球は男女とも小郡が優勝

町体育協会主催の第一回阿知須町近郷卓球大会は十月二十八日、阿知須中学校で開かれ、男女とも小郡Aが優勝しました。

試合は本町の若山産業男子をはじめ宇部、小郡などから参加した男子六、女子三チームによって行われました。

成績は次のとおり。

〔団体男子〕①小郡A②興産本社
③セントラル硝子
〔団体女子〕①小郡A②興産本社
③小郡B
〔個人男子〕①川浪敬一郎（宇部セメント）②中野義明（小郡）
〔個人女子〕①鍋田京子（小郡）
②若林恭子（興産本社）

慶弔録

出生（おすこやかに）

父の名	続柄	子の名	月日	部落
国重敏雄	長女	京子	9・26	小西
河村幸一	二女	光恵	9・22	縄北
亀村和美	長女	美和子	9・29	浜
大浜　豊	二男	敏明	10・4	恵比須
浜田恒雄	二女	雅子	10・13	中村
富田正和	二女	愛子	10・18	東
兼重一義	長男	一雅	10・28	旦北

婚姻（おしあわせに）

清水紀彦　長野県小県郡東部町
明栄子（中村）　井関
金子清嗣　下関市大字松小田
絹江（縄田）　砂三
藤田博道　野口
敏恵（吉岡）　宇部市大字小串
水本英男　井関
美智子（山本）　宇部市末広町
正岡雅春　砂三
京子（山本）　山口市大字嘉川
藤井正治（藤村）　美祢市於福上
国子　旦西
工藤信次（西村）　山口市大字名田島
善恵　築地
貞江光明　広島県賀茂郡福富町
恵子（田辺）　岩上
田辺和男　美祢郡秋芳町大字嘉万
悦子（大谷）　浜
野村和明　寺河内
満江（金子）　赤迫
古川智明　浜表
久美子（吉本）宇部市大字中宇部
穐村　隆　宇部市大字川上
圭子（國重）　向井関
沢見茂樹　築地
愛子（内山）　宇部市上町
上田　勉　宇部市幸町
ユミ子（森崎）　旦東
安東　茂　宇部市大字沖宇部
政子（坂野）　小東
山本新一　前山
信子（松永）　防府市華浦
藤村和夫　築地
久恵（山本）　宇部市昭和町
上野泰治　築地
京子（縄田）　砂三
平野敏夫　縄北
英子（松中）　宇部市東岐波

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年齢	部落
新谷トシコ	9・30	48	浜
伊藤　豊蔵	10・6	74	南祝
古谷マツ子	10・7	59	浜表
工藤　勉次	10・15	79	西条
松永イクヨ	10・20	54	岡
古田　ワサ	10・26	89	東
縄田　早一	10・26	75	縄北
縄田　善子	10・29	46	小東

役場の窓

◆・菊の季節です。役場で育てた五十鉢ばかりの菊が庁内に並び、ふくいくとしています。

外から入られた方が「ウーンいいにおい」といって、その香りを思いきり吸い込まれることもあります。一輪咲きばかりですが、菊は人の心を深くとらえる花のようです。敷地内にあるフエニックスはこもをかぶり冬仕度にかかりました。

◆・井関川に放流されている鯉を町外から来て獲る人が時々あるようです。しかし、見付けられた人が、直接注意するか、役場に連絡するなど協力してください。美しい町を守ろうとされる方々の多いことが感じられます。うれしいことです。

◆・美しい町といえば埼玉県蓮田市在住の青木一枝さん（三二）—縄田区出身、旧姓江本—が同市の広報紙・私のふるさと・欄に阿知須の思い出を書いておられました。その市の広報担当者から本町に送っていただいたので判ったのですが、野や山をかけめぐったこと、海岸に腰をおろして、きれいな海を眺めながら楽しいひとときを過したことなど、読者がうらやむようなお国自慢ぶりでした。いつの日か里帰りをされるであろうこの青木さんにとって、『ふるさとは遠くにありて思うもの』だったということにならないよう、きれいで、しかも、将来に夢をもつ町にしたいと願っています。

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見お気づきのことなど未発表のものをお寄せください。

短歌

北祝　部坂　秩子

夕つ陽に輝く蓮田の畔に来て明日
ひらかん蕾に手触る

北祝　原田　双恵

ありし日の母なせること我もまた
若菜の季に古葉漬食む

砂三　藤永ミツノ

白浜の千畳敷に来て見ればあまた
珊瑚の店並びあり

あじす讃歌

平海　武二

一、小鳥さえずる春の丘
見渡す町は絵のように
晴れたる空に鯉のぼり
未来を荷負う幼な子が
伸びゆく阿知須にまた泳ぐ

二、夕暮れ迫る夏の海
鉢巻姿の若者よ
船乗り稼業は我が勤め
波のしぶきに銀鱗が
明けゆく阿知須にまた揚る

三、実る稲穂に秋の風
ハンドル握る乙女たち
手甲脚絆で微笑みて
響くエンジンもみの山
豊かな阿知須にまた積る

四、静かに暮れゆく冬の町
明るく住みよい我が町よ
今宵も高くそびえたつ
人の調和の塔の灯が
誇りの阿知須にまた灯る

（小古郷西・漁業）

49 50 51